

MATRIX SWITCHER XS-42H

VIDEO PROCESSOR VP-42H

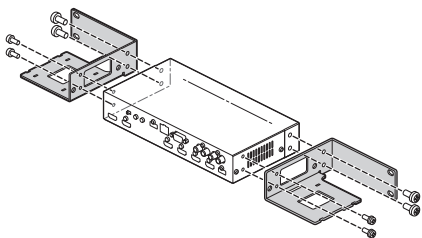


ラックに取り付ける場合

ラック・マウント・アングルの取り付け

本機に付属のラック・マウント・アングルを取り付けることで、ラックにマウントすることができます。

1. サイト・パネルからネジをはずす。はずしたネジを使って、図のようにアングルを取り付ける。



ラック・マウント時のご注意

- 通気性のよい場所に設置してください。
- 本機のトップ・パネル／サイド・パネルにある放熱口をふさがないでください。
- 密閉タイプのラックへのマウントは避けてください。ラック内の暖まった空気を排出できないため、本体内に暖まった空気を吸入することになり、効率のよい冷却ができません。
- ラック背面を開放できない場合は、暖かい空気がたまるラック後面上部に、排気口または排気ファンを設けてください。
- 移動用ケース（ポータブル・ラック）などにマウントする場合は、ケースの前面と背面のふたをはずし、本機の前面と背面をふさがないようにしてください。
- ラックにマウントするときは、指などをはさまないようにご注意ください。

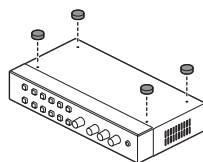


据え置きする場合

ゴム足の貼り付け

本機を机や棚などに据え置きで使用するときは、付属のゴム足（4 個）を取り付けてください。設置面の傷防止や滑り止めになります。

1. ゴム足をシートから取りはずす。
2. ゴム足の両面テープをはがし、本体裏面のガイド穴（4 箇所）をふさぐように貼り付ける。



PDF マニュアル（Web からダウンロード）

さらに詳しい操作説明やメニュー一覧、RS-232 コマンド一覧などは、『リファレンス・マニュアル』（PDF）に記載されています。

ダウンロード方法

1. ローランドのホームページにアクセスする。
<https://proav.roland.com/jp/>
2. 製品ページに移動 ⇒ [Support] をクリック ⇒ 該当する PDF ファイルをダウンロードする。



本機のシステム・プログラムを最新の状態にてお使いください。システム・プログラムのバージョンアップ情報は、ローランドのホームページ（<https://proav.roland.com/jp/>）をご覧ください。

システム・プログラムのバージョンは、[MENU] ボタン長押し ⇒ [System] ⇒ [Version] で確認できます。

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」（「安全上のご注意」チラシと取扱説明書（P.8））をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

各部の名称とはたらき

フロント・パネル

LINE IN

[LINE IN] つまみ

ライン入力の音量を調整します。LINE インジケーターが黄点灯する程度に調整します。

LINE IN インジケーター

ライン入力の音量レベルを表示します。

赤点灯	音量が過大
黄点灯	適正な音量
緑点灯	音量が過小

MASTER

[MASTER] つまみ

全体の音量を調整します。

MASTER インジケーター

全体の音量レベルを表示します。

赤点灯	音量が過大
黄点灯	適正な音量
緑点灯	音量が過小

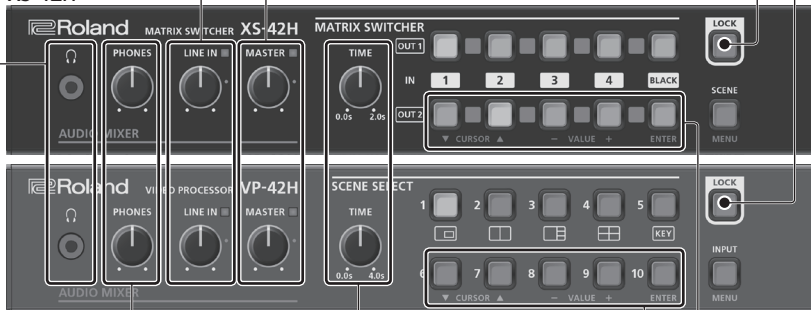
PHONES () 端子

ステレオ・ミニ・タイプのヘッドホンを接続します。

[LOCK] ボタン

長押しすると、パネル・ロック機能をオン/オフします。

XS-42H



VP-42H

[PHONES] つまみ

ヘッドホンの音量を調整します。

[TIME] つまみ

XS-42H

シーン (P.7) や映像の切り替え時間を設定します。

VP-42H

シーン (P.7) の切り替え時間を設定します。

メニュー表示時

メニューの表示中は、以下のボタンとして機能します。

CURSOR [▼] [▲] ボタン

メニューのカテゴリーや項目を選びます。

VALUE [-] [+] ボタン

メニュー項目の設定値を変更します。

[ENTER] ボタン

下の階層のメニューに移動したり、操作を実行したりします。

クロスポイント [1] ～ [4] ボタン

映像チャンネルのクロスポイントを切り替えます。

ボタン	状態
緑点灯	有効な映像が入力されています。
赤点灯	選択されている映像チャンネルです。
消灯	映像が入力されていません。

[BLACK] ボタン

出力映像を黒画面にフェード・アウトします。

フェード・アウトしている出力のクロスポイント・ボタンを押すと、フェード・インします。

ボタン	状態
赤点灯	フェード・アウト
緑点灯	通常の出力

- 出力映像を静止画にフェード・アウトすることもできます。

[SCENE] / [MENU] ボタン

シーン機能：ボタンを押す（緑点灯）

シーン機能をオンにします。シーン（登録されている映像／音声の設定）を呼び出します（P.7）。

- クロスポイント・ボタンと [BLACK] ボタンがシーン選択ボタン 1 ～ 10 として機能します。
- 映像／音声の設定は、選択中のシーンへ自動的に登録されます。

メニュー表示：ボタンを長押しする（赤点灯）

OUTPUT HDMI 2 端子に接続したモニターに、メニューを表示します（P.5）。

メニューの表示中は、ボタンを押すたびに 1 つ上の階層に戻ります。最上層のメニューを開いているときは、メニューを閉じます。

[INPUT] / [MENU] ボタン

映像割り当て機能：ボタンを押す（緑点灯）

映像割り当てのショートカットが使えます（P.6）。SCENE SELECT ボタンを使って、各レイヤーに割り当てる映像を選ぶことができます。

SCENE SELECT ボタン	説明
[1] ～ [4] ボタン	レイヤー 1 ～ 4 を選択（選択時：黄点灯）
	映像を選択（選択時：赤点灯）
[6] ～ [10] ボタン	[6] ～ [9]：INPUT HDMI 1 ～ 4 [10]： 静止画

メニュー表示：ボタンを長押しする（赤点灯）

OUTPUT HDMI 2 端子に接続したモニターに、メニューを表示します（P.5）。

メニューの表示中は、ボタンを押すたびに 1 つ上の階層に戻ります。最上層のメニューを開いているときは、メニューを閉じます。

SCENE SELECT [1] ～ [10] ボタン

シーン（登録されている映像／音声の設定）を呼び出します。

- 映像／音声の設定は、選択中のシーンへ自動的に登録されます。

放熱口（トップ・パネル／サイド・パネル）



本体内部の温度上昇を抑えるために、内部の熱を放出します。

ご注意！

放熱口をふさがないでください。放熱口をふさぐと本体内部の温度が上昇し、熱によって故障する恐れがあります。

リア・パネル

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

AC アダプターは、インジケーターのある面が上になるように設置してください。AC アダプターをコンセントに接続すると、インジケーターが点灯します。



USB 端子

USB メモリーを接続します。システム・プログラムをバージョンアップするときに使います。

[POWER] スイッチ

電源をオン/オフします。

LAN 端子

Web ブラウザーやターミナル・ソフトウェアを使って、本機をリモート・コントロールします。

LINE OUT 端子

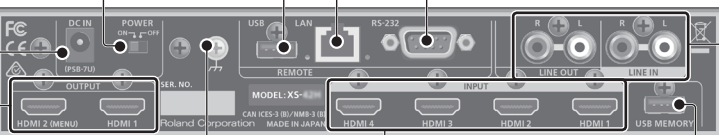
入力音声のミキシング結果を出力します。オーディオ・レコーダーやアンプ、スピーカーなどを接続します。

LINE IN 端子

音声を入力します。オーディオ・ミキサー、CD プレーヤーなどのオーディオ機器やビデオ機器を接続します。

RS-232 端子

RS-232 対応のパソコンなどを接続し、本機をリモート・コントロールします。



接地端子

外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。

USB MEMORY 端子

USB メモリーを接続します。静止画を読み込むときや、システム・プログラムをバージョンアップするときに使います。

OUTPUT HDMI 1、2 端子

映像／音声を出力します。プロジェクターや録画機器、外部ディスプレイなどを接続します。

- OUTPUT HDMI 2 端子に接続しているモニターには、メニューが表示されます。

• [VP-42H]

OUTPUT HDMI 1、2 端子からは、同一の映像が出力されます。

INPUT HDMI 1～4 端子

映像／音声を入力します。ビデオカメラ、BD プレーヤーなどのビデオ機器やパソコンを接続します。

- 入力フォーマットは、自動的に識別されます。
- Input メニューの「Input Status」で、各チャンネルに入力されている映像のフォーマットや HDCP 信号の有無を確認できます。

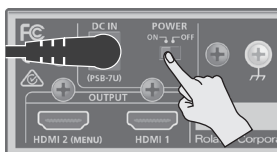
基本操作

電源を入れる／切る

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。
音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる

1. すべての機器の電源がオフになっていることを確認する。
2. 本機の [POWER] スイッチを ON 側にスライドさせて、電源を入れる。



3. ソース機器 ⇒ 出力機器の順に電源を入れる。

電源を切る

1. 出力機器 ⇒ ソース機器の順に電源を切る。
2. 本機の [POWER] スイッチを OFF 側にスライドさせて、電源を切る。

オート・オフ機能について

本機には、以下の状態のまま 240 分経過すると、自動的に電源が切れる「オート・オフ機能」が搭載されています。

- 本機が何も操作されない
- 音声／映像の入力がない
- OUTPUT HDMI 端子に機器が接続されていない

工場出荷時、オート・オフ機能は、オフに設定されています。オート・オフ機能をはたらかせたいときは、[MENU] ボタン ⇒ [System] ⇒ [Auto Power Off] を [Enabled] に設定します。

ご注意！

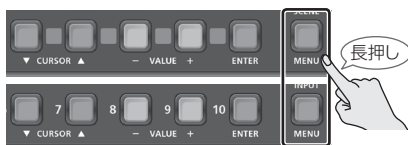
- 電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

メニューを操作する

メニューを表示して、本体の設定や映像／音声に関する設定をします。

- メニューは、OUTPUT HDMI 2 端子に接続したモニターにのみ表示されます。
- メニューの設定内容は、メニューを閉じるタイミングで本体に保存されます。

1. [MENU] ボタンを長押しして、メニューを表示させる。



[MENU] ボタンが赤点灯し、メニューのカテゴリーが表示されます。



2. CURSOR [▼] [▲] ボタンを押してカテゴリーを選び、[ENTER] ボタンを押して決定する。

選んだカテゴリーのメニュー項目が表示されます。

3. CURSOR [▼] [▲] ボタンを押して、メニュー項目を選ぶ。

- 設定値の部分に「Enter」と表示されているときは、[ENTER] ボタンを押して、下の階層に進みます。または、[ENTER] ボタンを押して、操作を実行します。
- [MENU] ボタンを押すと、1 つ上の階層に戻ります。

4. VALUE [-] [+] ボタンを押して、設定値を変更する。

- [ENTER] ボタンを押しながら、VALUE [-] または [+] ボタンを長押しすると、設定値を大きく変えることができます。
- VALUE [-] と [+] ボタンを同時に押すと、選んでいるメニュー項目が初期値に戻ります。

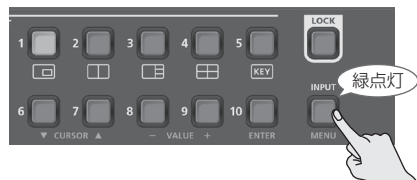
5. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

映像を合成する

VP-42Hのみ

入力された映像を、最大 4 画面までレイヤー合成して出力します。

1. [INPUT] ボタンを押して、緑点灯させる。



SCENE SELECT ボタンで、各レイヤーに割り当てる映像を選ぶようになります。

- Composition メニュー ⇒ [Layer 1] ~ [Layer 4] ⇒ [Source] のショートカットになります。

2. SCENE SELECT ボタンで、各レイヤーに割り当てる映像を選ぶ。

レイヤー 1 ~ 4 を選ぶ。
選択中のボタンは、黄点灯します。



映像を選ぶ。
選択中のボタンは、赤点灯します。
[6] ~ [9] ボタン: INPUT HDMI 1 ~ 4
[10] ボタン: 静止画

- 静止画の読み込み方法については、『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。

3. [MENU] ボタン長押し ⇒ [Composition] ⇒ [Layer 1] ~ [Layer 4] ⇒ Window の各項目を調整する。

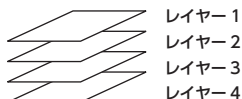
レイヤーごとに映像の位置やサイズを調整します。

レイヤーを非表示にする

- [MENU] ボタン長押し ⇒ [Composition] ⇒ [Layer 1] ~ [Layer 4] ⇒ [Layer] を [Disabled] に設定する。

メモ

- レイヤーの重なり順は、固定です。



- レイヤー 1 に割り当てた映像は、キー合成することもできます。
- 画面/パターンの設定は、選択中のシーンへ自動的に登録されます (P.7)。
- OUTPUT HDMI 1、2 端子からは、同一の映像が出力されます。

映像を切り替える

XS-42Hのみ

クロスポイント・ボタンで、4入力／2出力の組み合わせを切り替えて、映像を出力します。内蔵のフレーム・シンクロナイザーにより、シームレスな映像切り替えができます。

※ 映像と音声は、連動して切り替わります。

1. [SCENE] / [MENU] ボタンが消灯していることを確認する。
2. [TIME] つまみで、映像切り替え時間を設定する。



3. クロスポイント・ボタンを押す。

クロスポイント・ボタンの横方向が入力チャンネル、縦方向が出力チャンネルです。



映像が切り替わります。

メモ

出力する映像ごとにスケーリングの設定ができます。
[MENU] ボタン長押し ⇒ 「Output」 ⇒ 「Output 1」
～ 「Output 2」 ⇒ Scaling の各項目を調整します。

映像／音声の設定を呼び出す
(シーン)

映像／音声の設定は「シーン」として登録され、必要なときに呼び出して使うことができます。本機には、10個のシーンが用意されています。

シーンへの登録について

映像／音声の設定は、選択中のシーンへ自動的に登録されます。登録の操作は不要です。

シーンには、以下の設定が登録されます。

- Outputメニュー
※ 「Color Space」 「Signal Type」 を除く
- Inputメニュー
- Compositionメニュー (VP-42H)
- Audioメニュー
- クロス・ポイント (XS-42H)

VP-42H

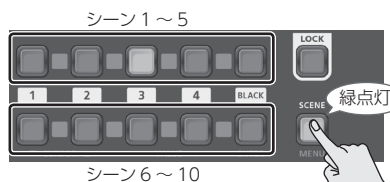
1. [INPUT] / [MENU] ボタンが消灯していることを確認する。
2. 呼び出したいシーン番号の SCENE SELECT ボタンを押す。



設定が呼び出されます。選択中のボタンは、黄点灯します。

XS-42H

1. [SCENE] ボタンを押して、緑点灯させる。



クロスポイント・ボタンと [BLACK] ボタンで、シーンが選べるようになります。選択中のボタンは、黄点灯します。

2. 呼び出したいシーン番号のクロスポイント・ボタンまたは [BLACK] ボタンを押す。
- 設定が呼び出されます。

安全上のご注意

警告

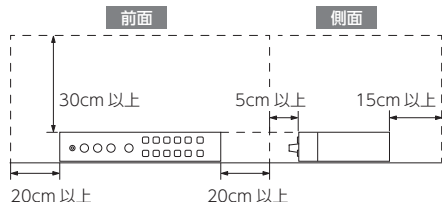
オート・オフ機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れる「オート・オフ機能」が搭載されています（P.5）。自動的に電源が切れないようにするには、オート・オフ機能を解除してください。



スペースを確保して設置する

本機は多少発熱するため、下記のスペースを確保して使用してください。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



ラック・マウント時のご注意

ラックにマウントするときは、指などをはさまないようご注意ください。



注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪戯で飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- ・ 付属品：ゴム足
- ・ 取りはずしが可能な部品：ネジ

接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、ゆるんではずれないように確実に取り付けてください。



やけどしないように注意する

使いかたによっては、本機が高温になることがありますので、やけどしないよう注意してください。



使用上のご注意

設置について

- ・ 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について

- ・ 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・ 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- ・ 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- ・ 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ・ 本機を使用すると、極めて速いスピードでの映像切り替えや映像効果のオン/オフが可能です。そのような映像を見ると、体調によっては頭痛をもよおしたり気分が悪くなったりする可能性があります。本機を用いて、このような健康を害する恐れのある映像を制作しないでください。あなた自身もしくは他の視聴者の健康が害されても、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。
- ・ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

外部メモリーの取り扱い

- ・ 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
 - ・ 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
 - ・ 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

知的財産権について

- ・ 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- ・ 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- ・ Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- ・ 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。